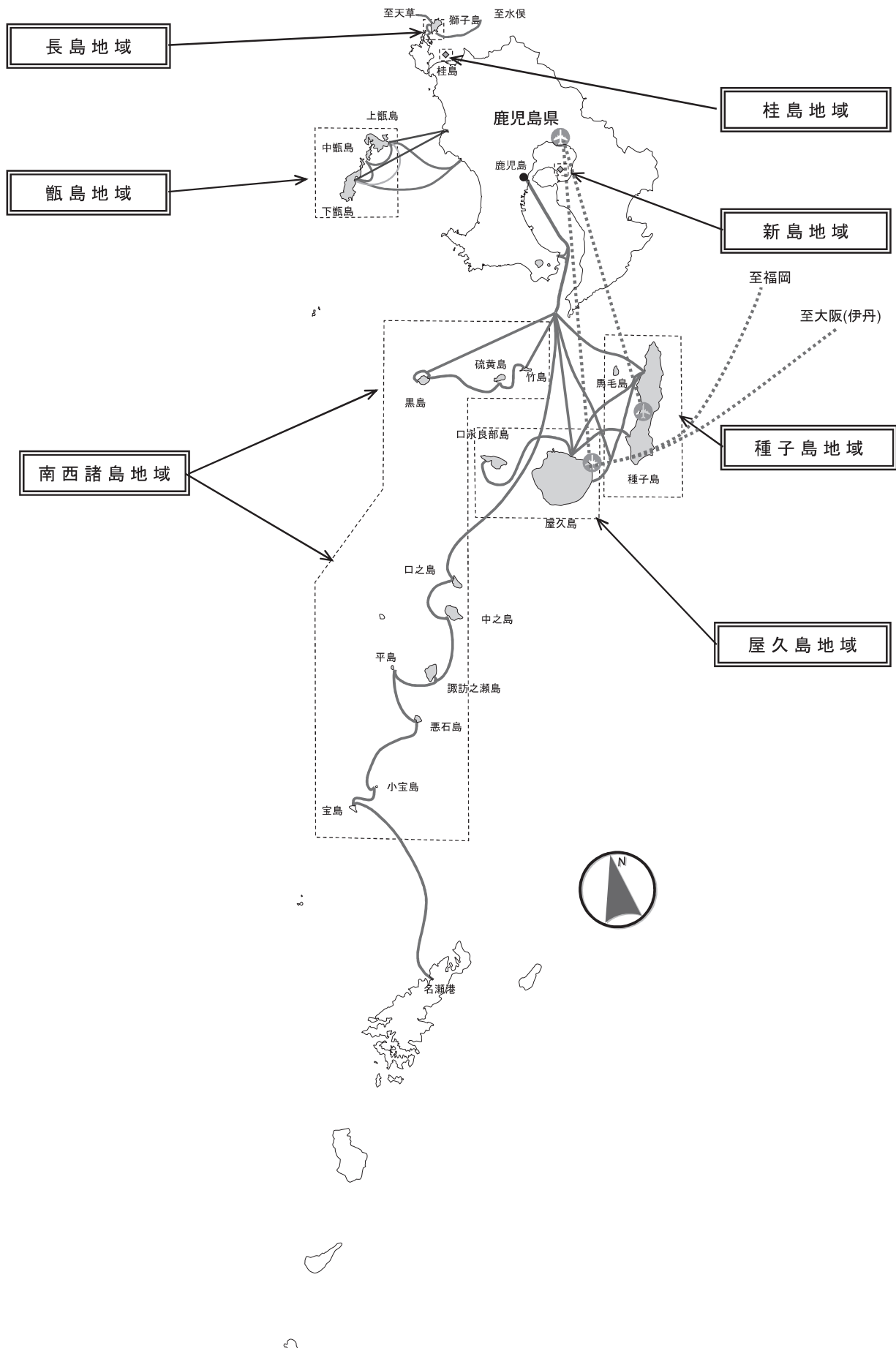


3 鹿児島県離島の概要



(1) 県全体の離島の概要

本県は全国でも有数の離島県である。

県土は北緯27度01分から32度18分にわたる南北約600km、東経128度24分から131度12分にわたる東西約300kmの広大な県土に、数多くの離島が散在している。

『鹿児島統計年鑑』（平成15年版）によると、長径100m以上の島は145島あるとされている。このうち特別措置適用の有人離島は26島ある。

これら有人離島は、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域（以下、「離島振興地域」という。）として指定を受けている離島が18島、奄美群島振興開発特別措置法に基づく事業が実施されている離島が8島ある。このほかには、本土との架橋により離島振興対策実施地域の指定が解除されている離島が3島ある。

本県の離島数（長径100m以上の離島）

項 目		島 数	摘 要
本 県 離 島 の 総 数		145	
内	本土との架橋により特別措置適用のない離島数（有人）	3	長島、諸浦島（昭和51.3.31解除） 伊唐島（平成10.4.1解除）
	上記以外の離島数	142	
内	うち無人島	116	
	うち特別措置適用有人離島	26	
	離島振興法指定離島	18	獅子島、桂島、上甕島、中甕島、下甕島、種子島、 屋久島、口永良部島、竹島、硫黄島、黒島、口之島、 中之島、諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島
	奄美群島振興開発特別措置法対象離島	8	奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、 沖永良部島、与論島
(再掲)有人離島数(指定解除離島含む)		29	

(資料)「鹿児島県統計年鑑」（平成15年版）

鹿児島県の離島振興地域及び奄美地域の人口は、平成27年国勢調査（10月1日現在）によると159,486人で、全国の離島人口（沖縄本島を除く。）の25.8%を占めており、全国第一位である。

また、面積は2,476.01km²で全国の離島面積の32.4%を占め、全国第一位である。このほか、本県離島はその数、関係市町村数においても、全国で上位に位置している。

主要項目別都道府県順位（平成27年10月1日現在）

(単位：人、km²、%)

順位	法 指 定 離 島 数			関 係 市 町 村 数			平 成 2 7 年 国 調 人 口			面 積		
	都道府県名	実 数	構成比	都道府県名	実 数	構成比	都道府県名	実 数	構成比	都道府県名	実 数	構成比
	全 国	304	100.0	全 国	141	100.0	全 国	618,974	100.0	全 国	7,649.31	100.0
1	長 崎 県	51	16.8	鹿 児 島 県	21	14.9	鹿 児 島 県	159,486	25.8	鹿 児 島 県	2,476.01	32.4
2	沖 縄 県	37	12.2	沖 縄 県	18	12.8	沖 縄 県	125,940	20.3	長 崎 県	1,551.12	20.3
3	愛 媛 県	32	10.5	山 口 県	11	7.8	長 崎 県	124,462	20.1	沖 縄 県	1,011.87	13.2
4	鹿 児 島 県	26	8.6	長 崎 県	10	7.1	新 潟 県	57,625	9.3	新 潟 県	864.45	11.3
5	香 川 県	23	7.6	東 京 都	9	6.4	香 川 県	34,048	5.5	北 海 道	417.45	5.5
6	山 口 県	21	6.9	香 川 県	9	6.4	東 京 都	26,491	4.3	東 京 都	359.10	4.7
7	岡 山 県	16	5.3	広 島 県	7	5.0	島 根 県	20,603	3.3	島 根 県	345.92	4.5
8	東 京 都	13	4.3	愛 媛 県	7	5.0	愛 媛 県	14,379	2.3	香 川 県	217.20	2.8
9	広 島 県	13	4.3	北 海 道	6	4.3	北 海 道	11,079	1.8	愛 媛 県	94.09	1.2
10	宮 城 県	9	3.0	岡 山 県	6	4.3	広 島 県	10,678	1.7	広 島 県	65.17	0.9

(注)平成27年10月1日現在の特別措置適用離島についてのデータによる。沖縄県については、本島を除く。

(資料)「2016離島統計年報」（日本離島センター）

(2) 離島振興地域の概要

離島振興地域の有人離島は、長島（1島）、桂島（1島）、甌島（3島）、新島（0島）、種子島（1島）、屋久島（2島）及び南西諸島（三島村、十島村の10島）の7地域、18島から成る。

これらの離島の多くが外海に散在し、本土から遠く離れていることに加え、台風常襲地帯に位置するなど極めて厳しい自然条件下に置かれている。また、口永良部島、硫黄島、口之島、中之島及び諏訪之瀬島は活火山を有する離島である。

さらに、歴史的、自然条件が島ごとにそれぞれ異なっていることから、産業、文化、経済、社会生活等あらゆる面において島を単位として形成されている。有人離島における関係市町村は10、面積は1,253km²、人口は約4万9千人となっている。

地域別離島の概要

(単位：km²、人、%)

区 分	離 島 振 興 地 域								奄 美	離 島 計	県 計
	長 島	桂 島	甌 島	新 島	種子島	屋久島	南西諸島	計			
有人島数	1	1	3	0	1	2	10	18	8	26	26
市町村数	1	1	1	1	3	1	2	10	12	22	43
面 積	17.1	0.3	117.0	0.1	453.0	540.7	124.4	1,252.6	1,231.7	2,484.3	9,186.9
人 口	689	8	4,719	0	29,847	12,913	1,163	49,339	110,147	159,486	1,648,177
高齢化率	41.3	62.5	45.8	-	34.5	31.4	28.1	34.7	31.3	32.4	29.4

(注) 四捨五入の結果、計は必ずしも一致しない。

(資料) 「国勢調査」

「2016離島統計年報」

(3) 離島類型

平成5年6月11日内閣総理大臣決定の国離島振興計画は、離島の本土からの時間距離、地理的条件、人口規模等に基づき、内海・本土近接型離島、外界・本土近接型離島、群島型離島、孤立大型離島、孤立小型離島の5類型に分類している。

本県の離島振興地域の場合、内海・本土近接型離島が2島、群島型離島が3島、孤立離島が13島あり、さらにそのうち11島が、狭小で人口が数十人から200余人の小型離島であるなど極めて厳しい条件下にある。

離島の類型

類 型 名	内 容
内海・本土近接型	本土の中心的な都市から航路1時間圏内にあり、かつ航路の欠航がほとんどないと考えられる離島
外海・本土近接型	本土の中心的な都市から航路1時間圏内にある内海・本土近接型以外の離島
群 島 型	本土にある中心的な都市から1時間圏外にあり、かつ人口概ね5,000人以上の大型島を中心とし、航路1時間圏内で近接する複数の離島
孤 立 大 型	上記以外の離島で、かつ人口概ね5,000人以上の孤立離島
孤 立 小 型	孤立大型以外の孤立離島

(4) 行政制度の沿革

終戦後の離島関係の行政制度のあゆみは次表のとおりである。

離島関係行政制度の沿革

年 月 日	沿 革
昭和21年 2月28日	連合軍覚書により，北緯30度線を暫定国境と定めたため，旧十島村が分断され，旧十島村の上3島（竹島・硫黄島・黒島，現在の三島村）は本県管轄に編入され，奄美群島及び旧十島村の下7島（現在の十島村）は米軍政下に置かれる。
24年 4月 1日	鹿島村が下甌村から分村
26年12月 5日	北緯29度線以北の下7島本土復帰決定
27年 2月10日	大島郡十島村（下7島），同三島村（上3島）発足
28年 7月22日	離島振興法公布施行（昭和38年3月31日まで）
28年10月26日	第1次離島振興対策実施地域指定により，長島，甌島，種子島，屋久島，南西諸島（十島村，三島村）が指定
29年 7月15日	県離島振興計画（昭和28～37年度）を内閣総理大臣に報告
31年 7月10日	東町町制施行
31年10月15日	南種子町町制施行
33年 3月 9日	改訂県離島振興計画（昭和33～37年度）を内閣総理大臣に報告
33年 4月 1日	上屋久町町制施行
33年10月 1日	西之表市市制施行
34年 4月 1日	屋久町町制施行
36年 9月25日	第9次離島振興対策実施地域指定により，桂島が指定
37年 3月 2日	離島振興法一部改正（適用期限が47年度まで延長）
37年12月	離島振興計画（昭和38～47年度）を内閣総理大臣に報告
39年 7月 7日	第10次離島振興対策実施地域指定により，新島が指定
47年 6月 1日	離島振興法一部改正（適用期限が57年度まで延長）
48年 3月31日	離島振興計画（昭和48～57年度）を内閣総理大臣に報告
48年 4月 1日	三島村，十島村が大島郡から鹿児島郡となる。
48年 5月 1日	桜島町町制施行
51年 3月31日	長島，諸浦島が第6次指定解除
57年 5月 7日	離島振興法一部改正（適用期限が平成4年度まで延長）
58年 1月31日	離島振興計画（昭和58年度～平成4年度）を内閣総理大臣に報告
平成 4年 4月24日	離島振興法一部改正（適用期限が平成14年度まで延長）
5年 4月 1日	離島振興計画（平成5～14年度）を内閣総理大臣に報告
10年 4月 1日	伊唐島が第15次指定解除
14年 7月12日	離島振興法一部改正（適用期限が平成24年度まで延長）
15年 4月 1日	離島振興計画（平成15～24年度）を策定
16年10月12日	里村，上甌村，下甌村及び鹿島村が合併し薩摩川内市となる。
16年11月 1日	桜島町が合併し鹿児島市となる。
18年 3月20日	東町・長島町が合併し新「長島町」となる。
19年10月 1日	上屋久町及び屋久町が合併し屋久島町となる。
24年 6月20日	離島振興法一部改正（適用期限が平成34年度まで延長）
25年 4月 1日	離島振興計画（平成25年～34年度）を策定

(5) 人口の動向

離島振興地域（平成30年3月31日時点）の総人口は、昭和30年の117,144人から平成27年には49,339人となり、この期間内に67,805人、57.9%減少している。

この間の減少率を7地域別に見ると、新島が無人島となったことをはじめ、桂島95.3%減、甌島80.0%減、南西諸島71.0%減と減少が著しく、これに長島の69.2%減が続いている。最も減少率の少ない屋久島でも45.3%減であった。

この間の県人口の減少率が19.4%減であったことから、離島の人口減少のテンポが極めて早く、過疎化が急速に進んだことがうかがえる。

総人口の推移

(単位：人，%)

区 分		離 島	奄 美	県内離島	鹿児島県	全 国
人 口	昭和30年	117,144	205,363	322,507	2,044,112	90,076,594
	45年	84,053	164,114	248,167	1,729,150	104,665,171
	50年	75,885	155,879	231,764	1,723,902	111,939,643
	55年	72,308	156,074	228,382	1,784,623	117,057,485
	60年	69,059	153,062	222,121	1,819,270	121,048,923
	平成2年	63,857	142,834	206,691	1,797,824	123,611,167
	7年	61,200	135,791	196,991	1,794,224	125,507,246
	12年	59,071	132,315	191,386	1,786,194	126,925,843
	17年	56,119	126,483	182,602	1,753,179	127,767,994
	22年	52,879	118,773	171,652	1,706,242	128,057,352
27年	49,339	110,147	159,486	1,648,177	127,094,745	
増減 率	昭和30～平成27	△ 57.9	△ 46.4	△ 50.5	△ 19.4	41.1
	平成17～平成27	△ 12.1	△ 12.9	△ 12.7	△ 6.0	△ 0.5

(注) 離島は、平成30年3月31日現在で離島振興地域に指定されている地域の数値

(資料) 「国勢調査」

「2016離島統計年報」

地域別人口の推移

(単位：人，%)

区 分		長 島	桂 島	甌 島	新 島	種子島	屋久島	南西諸島	計
人 口	昭和30年	2,236	170	23,629	131	63,354	23,614	4,010	117,144
	45年	1,774	116	11,750	85	50,920	17,376	2,062	84,053
	50年	1,526	100	10,002	40	46,359	16,110	1,748	75,885
	55年	1,492	62	9,428	26	44,154	15,624	1,522	72,308
	60年	1,326	24	9,267	22	42,007	15,074	1,339	69,059
	平成2年	1,184	28	8,348	18	39,176	13,860	1,293	63,857
	7年	1,082	26	7,926	13	37,271	13,593	1,289	61,200
	12年	981	32	7,220	12	35,695	13,875	1,256	59,071
	17年	851	18	6,206	5	34,143	13,761	1,135	56,119
	22年	757	13	5,576	4	31,865	13,589	1,075	52,879
27年	689	8	4,719	0	29,847	12,913	1,163	49,339	
増減 率	昭和30～平成27	△ 69.2	△ 95.3	△ 80.0	△ 100	△ 52.9	△ 45.3	△ 71.0	△ 57.9
	平成17～平成27	△ 19.0	△ 55.6	△ 24.0	△ 100	△ 12.6	△ 6.2	2.5	△ 12.1

(注) 平成30年3月31日現在で離島振興地域に指定されている地域の数値

(資料) 「国勢調査」

「2016離島統計年報」

総人口に占める65歳以上の人口の割合（老年人口比率）をみると、平成27年国勢調査で、離島振興地域が34.7%、県平均が29.4%である。また、平成17年における割合は、離島振興地域30.6%、県平均24.8%であり、離島における高齢化は、県平均に比し概ね10年ほど先行しているとみられる。

平成27年の地域別老年人口比率は、桂島が62.5%と最も高く、これに甑島の45.8%が次いでいる。平成2年から平成27年までの25年間の高齢化の速度は、桂島（55.4ポイント上昇）が最も早く、続いて長島（20.2ポイント上昇）となっている。

65歳以上人口割合の推移

(単位：%)

区 分	長 島	桂 島	甑 島	新 島	種 子 島	屋 久 島	南西諸島	計	県
昭和35年	—	—	9.5	—	5.7	5.5	5.8	6.3	7.2
50年	—	—	22.1	—	10.3	11.0	17.3	12.2	11.5
55年	—	—	24.0	—	12.3	12.5	19.6	14.1	12.7
60年	16.3	4.2	26.5	27.3	14.3	14.6	23.2	16.2	14.2
平成2年	21.1	7.1	30.5	27.8	17.3	18.0	28.0	19.5	16.6
7年	25.4	0.0	35.6	38.5	21.8	22.0	27.9	23.8	19.7
12年	30.4	6.3	39.8	66.7	26.1	24.6	30.2	27.6	22.6
17年	37.6	22.2	41.5	60.0	29.7	27.5	31.4	30.6	24.8
22年	37.6	53.8	42.2	75.0	31.8	28.0	32.7	32.0	26.5
27年	41.3	62.5	45.8	—	34.5	31.4	28.1	34.7	29.4

(注) 1 市町村内一部離島である長島、桂島、新島については昭和55年以前のデータはない。

2 「—」は不明

(資料) 「国勢調査」, 「2016離島統計年報」

(6) 産業構造

ア 就業構造

平成27年の離島振興地域の実業人口は25,639人であり、産業別には第1次産業 6,174人（24.1%）、第2次産業 3,364人（13.1%）、第3次産業16,049人（62.6%）となっている。

全国や県平均と比べて、離島の実業人口の就業構造の特徴としては、

- ① 第1次産業の割合が高く、とりわけ農業及び水産業の割合が高いこと
- ② 建設業の割合が高く、製造業の割合が低いこと
- ③ 第3次産業の割合が低いこと

などが挙げられる。

産業別実業者数

(単位：人，%)

区 分	離 島						奄 美	県	全 国
	実 数			構 成 比					
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平 成 2 7 年		
第1次産業	7,390	6,772	6,174	26.2	25.5	24.1	15.0	9.3	3.8
うち農業	6,257	5,701	5,424	22.2	21.5	21.2	13.8	8.4	3.4
うち林業	93	159	—	0.3	0.6	—	—	0.3	0.1
うち水産業	1,040	912	750	3.7	3.4	2.9	1.2	0.7	0.3
第2次産業	4,523	3,572	3,364	16.0	13.5	13.1	14.1	19.1	23.6
うち建設業	3,313	2,444	2,130	11.8	9.2	8.3	10.0	8.3	7.4
うち製造業	1,184	1,116	1,222	4.2	4.2	4.8	4.0	10.7	16.2
第3次産業	16,264	16,074	16,049	57.7	60.6	62.6	70.5	69.7	67.2
就業者総数	28,183	26,536	25,639	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 就業者総数には分類不能を含む。

(注) 平成27年の第1次産業のうち農業就業者数については、林業就業者数を含む。

(資料) 「国勢調査」, 「2016離島統計年報」

イ 産業別総生産

平成27年度の離島振興地域の産業別総生産の特徴としては、

- ① 農業や水産業の割合が高いこと
 - ② 公共事業を中心とする建設業の割合が高く、製造業の割合が低いこと
- などが挙げられる。

産業別総生産

(単位：百万円，%)

区 分	離 島			奄 美 県 全 国					
	実 数			構 成 比			構 成 比		
	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平 成 2 7 年		
第1次産業	10,314	9,606	9,950	7.0	6.6	6.9	6.0	4.6	1.0
うち農業	9,385	8,742	8,674	6.3	6.0	6.0	4.6	3.4	0.8
うち林業	159	314	549	0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1
うち水産業	770	550	727	0.5	0.4	0.5	1.4	1.0	0.2
第2次産業	27,611	26,270	22,199	18.7	18.1	15.3	11.0	19.9	27.2
うち建設業	16,385	12,020	12,531	11.1	8.3	8.6	7.6	6.5	5.4
うち製造業	10,968	14,190	9,580	7.4	9.8	6.6	3.1	12.9	21.7
第3次産業	110,100	108,908	112,925	74.4	75.2	77.8	83.0	74.9	71.8
小 計	148,025	144,783	145,074	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
輸入品に課される税・関税	1,351	1,351	2,416						
(控除)総資本形成に係る消費税	669	659	1,387						
総 生 産	148,707	145,439	146,102						

(注) 1. 市町内一部離島の方は除く。

(資料) 「平成27年度県民経済計算(内閣府)」，「平成27年度市町村民所得推計結果の概要」，
「市町村内総生産(平成27年度推計分)」，「平成27年度大島郡民所得推計結果の概要」

(7) 所得水準

平成27年度の一部離島を除く離島振興地域の住民1人当たり所得は2,048千円で、1人当たり県民所得の85.9%、1人当たり国民所得の64.2%となっている。

1人当たり所得の推移

(単位：千円，%)

区 分		平成17年度	平成22年度	平成27年度
1人当 たり所 得	離 島	2,035	2,081	2,048
	鹿児島県	2,346	2,396	2,384
	全 国	2,928	2,729	3,190
格 差	離島/県	86.7	86.9	85.9
	離島/国	69.5	76.3	64.2

(注) 「離島」には市町内一部離島の方は除外してある。

(資料) 「平成27年度県民経済年報」，「市町村民所得推計主要指標(平成27年度推計分)」

本県離島の概要（平成30年3月31日現在の指定地域）

（単位：km²，km，人，戸）

地域	島名 (Name)	市町村名	類型	面積	海岸 延長	人口			世帯数 (H27国調)
						平成27	平成22	増減率(%)	
長島	獅子島 (Shishi-jima)	長島町	内海	17.05	36.5	689	757	△ 9.0	287
桂島	桂島 (Katsura-jima)	出水市	内海	0.33	2.7	8	13	△ 38.5	5
甌島	上甌島 (Kamikoshiki-shima)	薩摩川内市	群島主島	44.20	81.1	2,174	2,488	△ 12.6	1,081
	中甌島 (Nakakoshiki-shima)			7.28	17.4	224	308	△ 27.3	137
	下甌島 (Shimokoshiki-shima)		群島主島	65.56	84.8	2,321	2,780	△ 16.5	1,232
新島	新島 (Shin-jima)	鹿児島市	内海	0.13	2.3	0	4	△ 100.0	0
種子島	種子島 (Tane-ga-shima)	西之表市 中種子町 南種子町	孤立大型	444.86	169.6	29,847	31,854	△ 6.3	13,836
	馬毛島 (Mage-shima)	西之表市	孤立小型	8.17	16.5	0	11	△ 100.0	0
屋久島	屋久島 (Yaku-shima)	屋久島町	孤立大型	504.89	126.7	12,913	13,437	△ 3.9	6,133
	口永良部島 (Kuchinoerabu-jima)		孤立小型	35.77	49.7	0	152	△ 100.0	0
南西諸島	竹島 (Take-shima)	三島村	孤立小型	4.20	12.8	87	83	4.8	52
	硫黄島 (Io-jima)		孤立小型	11.70	19.1	130	127	2.4	65
	黒島 (Kuro-shima)		孤立小型	15.30	20.1	190	208	△ 8.7	106
	口之島 (Kuchi-no-shima)	十島村	孤立小型	13.33	13.3	159	138	15.2	99
	中之島 (Naka-no-shima)		孤立小型	34.48	28.0	171	143	19.6	99
	諏訪之瀬島 (Suwanose-jima)		孤立小型	27.66	24.5	73	52	40.4	33
	平島 (Taira-jima)		孤立小型	2.08	4.5	71	81	△ 12.3	38
	恵石島 (Akuseki-jima)		孤立小型	7.49	8.8	79	72	9.7	45
	小宝島 (Kodakara-jima)		孤立小型	1.00	3.2	55	54	1.9	28
宝島 (Takara-jima)	孤立小型		7.14	12.1	148	117	26.5	85	
7地域	20島	10市町村	—	1,252.62	733.7	49,339	52,879	△ 6.7	23,361

（注：上甌島と中甌島は、平成5年3月架橋により結ばれたため、両島を一つと見なし「群島主島」と表記している。）

（注：口永良部島については、調査時点（平成27年10月1日）は、全島避難だったため、人口はゼロとなっている。）